

6月28日の「JAL退職者懇談会」世話人会で日東整争議団の泉さんから  
支援要請がありましたのでお知らせいたします。

JALの整備子会社であった日東航空整備（日東整）は、JALが日東整との契約を解除して切り捨てたために、147名の全社員に2011年3月末での希望退職を迫り、応じなかった労働者13名を解雇しました。

日東航空整備（日東整）とは1980年にJAL（当時のTDA、旧JAS）と日本飛行機の合併会社（両社50%の均等出資）として設立されました。旧JAS機材の重整備を担い、古くはYS11からエアバス機、DC-9、MD90を整備していました。

『日東航空整備（日東整）は、日本航空から会社ごと潰され、全員解雇されました。

泉、佐藤の2名が解雇は不当として東京地裁に提訴し第1回裁判が5月14日開かれました。

日本航空の経営支配のもと、日東整からJAL ECに整備作業が事業譲渡したのだから原告らの雇用もJAL EC（JALエンジニアリング）に承継されるとの地位確認と、働くことが侵害されたことへの損害賠償請求を行っています。

次回は7月19日11時、東京地裁705号法廷です。

高校生2人の子どもを抱え、午前中はパートで働いて頑張っています。解決するまでたたかいます。どうぞよろしくご支援ください。』

「日東整争議を勝たせる会」への入会要請と裁判所へ公正な判決を求める署名の要請がありました。

署名用紙のダウンロードアドレス [http://www.kohkuren.org/archive/torikumi/ntm\\_syomei.pdf](http://www.kohkuren.org/archive/torikumi/ntm_syomei.pdf)